

令和5年11月10日

豊田市議会議長 木本 文也 様

議会運営委員長

羽根田 利明



委員派遣実施報告書

本委員会は、下記のとおり委員派遣を実施しましたので、豊田市議会委員会条例第37条第1項の規定により、報告書を提出します。

記

- 1 派遣期間 令和5年10月17日（火）から同月18日（水）まで
- 2 派遣場所 17日（火）三重県四日市市 議会改革の取組、市民参加の取組
及び内容 18日（水）石川県金沢市 議会広報誌、議会活性化の取組
- 3 派遣委員 委員長 羽根田利明
副委員長 日當 浩介
委員 岡田 耕一 山田 主成 窪谷 文克
杉本 寛文 榎屋小百合 塩屋 雅樹
岩田 淳 水野 博史
- 4 報告内容 視察報告書のとおり
- 5 随行者 水野 智弘、河橋 敦子

視察報告書【1】

委員会名	議会運営委員会	委員名	羽根田 利明
視察日時	令和5年10月17日（火） 午前10時00分 ～ 午前11時30分		
視察先・概要	三重県四日市市 人口：308,244人（R5.8末現在） 面積：381.58km ²		
視察内容	議会報の取組、市民参加の取組		
選定理由	四日市市議会では、議員提案による条例の制定や一部改正の実績が多数あり、また、前年度の決算を審査によって洗い出された市の施策に関する課題等に対する議会の意見を次年度の予算に反映させる政策サイクルの仕組みを取り入れている。四日市市議会の議会活性化の取組を調査することで、本市議会のこれまで以上の議会改革に資するものとする。		
豊田市の現状と課題	本市議会においても議会の活性化や議会力の向上に資する調査研究を積極的に行っているが、さらなる議会力向上のため、本市議会では実施していない取組（議員による政策立案、決算・予算サイクル、高校生議会など）について調査、研究する。		
視察概要	1. 議会改革の取組 ①議員政策研究会の設置と議員提案による条例の制定・改正 全議員が一堂に会して意見交換を行い、市政に関する様々な課題に対して共通認識を図り、政策立案機能の更なる向上に資するために設置された。本組織は平成17年に設置され、年度当初に各会派等にテーマを募って調査研究を行い、これらを全体会で決め、各分科会、特別委員会を設置し報告書を取りまとめ、市長への政策提言、条例等の改正につなげるものであり、平成28年度以降に7件の条例改正及び制定している。 ②決算・予算政策サイクルについて 8月議会の決算審査を通じて、次年度予算編成に向けた市長への提言を行うと共に、翌年2月議会の予算審査において、当該提言の内容を踏まえて次年度予算への議会意思の反映状況を確認し予算審査を行うこととした。この政策サイクルの確立に向けて常任委員会の任期を2年とした。 ③定例会を年1回とし、会期を通年 会期を通年とすることで、議会の休会中であっても、災害等突発的な事件や緊急課題についても、市長の専決処分でなく、議長による緊急会議の開催により審議できるようにした。 2. 市民参加の取組（高校生議会について） 平成30年から、地域の未来を担う子どもたちに地方政治に興味を持ってもらい、18歳未満の子どもたちの意見聴取と地方政治への関心の向上を図ると共に、今後の市政の参考とするため高校生を主体とする議会を開催している。		

評価とその理由	①議員提案による条例の制定改正の取組 議員提案による条例の制定・改正について、議員間で意見交換し共通認識の醸成を図り、政策立案機能を向上させる取組を行っている。条例改正には、知見、専門的知識を必要とする。事務局、執行部の協力、一部、外部有識者の力を借りていると思うが、議員が主となり、条例改正に取り組む議会力については大きく評価できる。 ②決算審査の反映 決算審査の反映については、どの議会でも課題。予算への反映は時期を逸してしまうことが多い。そのため、9月議会の日程を変更して次年度予算に反映できる思い切った議会改革を実施している。また議決を行う前に、予算反映への提言を提出している。議会日程でいえば約4日早く提言できるスケジュールとなるが同時に提出する提言書のまとめを行うスピードは感心させられた。しかし、4日早くなったことが予算審査の反映に大きく影響することなのかがしっくりこなかった。 ③高校生議会について 政治離れ、なり手不足が進んでいる状況で、高校生議会の取組は、議会の必要性を知って頂くとともに、高校生から議会の必要性を発信して頂くことに繋がる。また、このキッカケが議員を目指したいと思うことに繋がることも期待できる。様々な高校から参加することで新しい友人ができることに繋がっていることは、この取組のもう一つの効果としても評価できる。
本市に反映できること	・条例制定・改正を積極的に行うことが議員の仕事ではないと思うが、それだけ意識とアンテナを高く持ち、また行動できる議会の運営は見習うべき議会だと思う。このような活動が、条例の制定、改正だけでなく様々な場面で、資質向上・スキルアップに繋がる。現状の議会運営に甘んじることなく、取り組む姿勢は参考にすべき。 ・政策実現に向けた取組としてとても参考になった。常任委員会の任期を2年に変更するなど、市政繁栄に向け、フレキシブルに議会を変える柔軟さは参考にすべき。現状を肯定せず、変えることへの挑戦を議会が行っていかなくてはならないと感じた。 ・高校生議会の取組は、豊田市の将来を担う学生が自分事として豊田市をどのようにしたいのか。ということを考える機会の創出につながることから、やり方を検討し導入できるとよい。 ・多様な世代の市民に議会について関心を持ってもらうために市議会モニター制度は有効な手段である。

その他
(意見・課題など)

- ・樋口議長、小田議員が同席し、視察対応を頂きました。このような席での対応は、議会として議会力・議員の資質向上を図る狙いを感じたとともに、それだけしっかりと取り組んでいることから、知識と対応ができることに繋がっていると感じた。
- ・決算をしっかりと審査することで分かる事業の問題点や課題を次年度へ反映するために、議会での議論を深める取組は、評価することを踏まえつつも、会派での政策要望など議員の資質や市民の声を聴く取組をしっかりと行い、政策提言に繋げることで、政策実現を行っていく現在の取組を強化することも必要と感じた。
- ・常任委員会委員の任期を2年に変更することによるメリットもデメリットもある。4委員会ある四日市市については、2期議員を務めなければ全委員会を経験することが出来ない。委員会を経験し専門的な視点から、議員の力を向上させる点では任期が長いと感じる部分ではあるが、市の課題解決を予算・条例にアウトプットしている四日市市議会素晴らしい議会と感じた。
- ・一方、議員が毎年のように条例改正を提出すること。しなくてはならないことが、市の運営として適切であるのか。執行部と議員の仕事あり方については疑問も残る。

【10月17日四日市市議会視察の様子】



視察報告書【2】

委員会名	議会運営委員会	委員名	羽根田利明
視察日時	令和5年10月18日（水） 午前9時30分 ～ 午前11時00分		
視察先・概要	石川県金沢市 人口：458,217人（R4.8.1現在） 面積：468.6km ²		
視察内容	議会広報誌、議会改革の取組		
選定理由	金沢市議会は、令和2年度に中核市議会議長会主催の議会報コンクールにおいて、審査員特別賞を受賞している。本市議会においては、議会だより編集委員会を中心にとよた議会だよりのリニューアルを現在計画しており、金沢市議会報の工夫している点や作成の過程等を調査することで、これまで以上に市民に読んでもらえる議会だよりの作成に資するものとする。		
豊田市の現状と課題	豊田市議会では、現在、より市民に読んでもらえる議会だよりを目指し、紙面の全面リニューアルに向けて検討を行っている。議会だよりは、市議会からの情報を発信する重要なツールと認識しているが、今年実施したEモニターアンケートでは、「毎回、読んでいる」との回答は全体の約24%であった。議会だよりがより市民に読んでもらえるよう評価の高い市議会の取組を調査、研究する。		
視察概要	1. 市議会だよりについて 金沢市議会だよりの色彩は、「加賀五彩」と言われる、歴史と地域に根付いた色合いを活用している。 ① 発行回数：年4回発行（5月、8月、11月、2月） ② 主な内容：定例議会の内容（質問、応答、議会審議結果等） ③ 配布：全戸配布（205,000部発行、経費3000万円） ④ その他：点字版、録音盤も別途作成 2. 市議会ハンドブックについて ① 目的：小学校高学年の子どもたちに市議会をPR ② 発行：平成27年度から 例年5月上旬発行 ③ 配布：小学校6年生（約4,200人）全児童及び各施設 ④ 内容：市議会のしくみ、市民と議会、金沢市議会の状況等 3. 子ども議会教室の開催について ① 目的：子どもたちが市議会の役割、しくみを学習し議員と交流を通じ、市政に興味を持ってもらうと共に広く市民へのPR ② 開催の経緯と実施主体の変遷：平成27年度、新たな審議議題の提案として「こども会議の開催」を検討し、平成28年度に実施を決定し、平成29年度から実施している。 ③ 金沢市議会子ども議会教室（タイムスケジュール）： 13時受付開始 13時20分入室 15時30分終了 子ども議会教室の資料は市議会の内容をクイズや子どもからの質問を通じて勉強できるようにしている。		

評価とその理由	1. 議会だより・市議会ハンドブック 市民へ市議会を理解して戴くため、全戸配布を行っている。資料作成費 300 万円/回 全戸配布費用 1,600 万円/年 費用 3,000 万円以下/年の予算で実施。予算をしっかりと確保し、議会への関心を高める取組を行っている。現在は投票率が低迷していることから P R に力を入れている所は評価する。デジタル化の検討も進め、多角的な発信方法の検討も必要かと考える。 また、議会の取組をすべての方に届ける視点から、点字版、録音版の議会だよりも発行している。 地元への愛着を持った議会だよりの発行として、加賀五彩を使うなど、工夫している。 小学 6 年生の社会科授業をターゲットにした議会ガイドブックも作成し、広く市議会の P R を行っている。議会の仕事はわかりにくいことから、子ども目線での資料作成は、多くの方にわかりやすい資料になっている。 2. 子ども議会教室の開催 将来を担う子ども達を対象に市議会の役割や仕組みの学習、議員との交流を通じて、市政への興味を持てる取組を行っていることは評価できる。子どもに議会を知ってもらうことも目的であるが、そのことを通じて、市民の価値観を再認識する機会に繋がっていると感じる。 子ども議会を行うに当たっては、広報委員会がやるべき業務に責任を持ち実行している。議員が責任を持ち取り組むことが大事だと感じるなかで、議員が汗を掻いていることは評価する。
本市に 反映できること	・本市においても議会だよりを多くの方に関心を持って読んで頂くために、現在、リニューアルを進めている。金沢市議会が加賀五彩を活用しているように、伝統や地域の特色を活用することで市民へのメッセージになるような工夫も視点としては良いと感じた。 ・子ども議会は、政治や議会に関心が低い子どもたちの理解を深める取組であり、子どもの時に政治に関わることで、その後の人生において関心を持つことが出来るため、本市でも前向きに検討すべきと考える。
その他 (意見・課題など)	・議会活動を市民の皆さんに関心を持ってもらうのは、簡単ではないが継続と様々な工夫を行っていくことが必要である。金沢市は特に投票率が低い、本市もいつかそのような状況になる可能性もある。議会情報の発信を工夫し、多くの方が議会に関心を持てるような取組を今後も研究していきたい。 ・子ども議会教室を実施するなかで、開催時期の問題、感染症や自然災害に見舞われながらも、取組を進めてきたと、お話が合った。大変な中での取組であるが今後も継続して頂き、数年後の変化を調査したい。

【10月18日金沢市議会視察の様子】

